

東洋製罐株式会社 広島工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東洋製罐株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市下北方1丁目4番1号

(3) 業種

ブリキ缶その他のメッキ板等製品製造業(2411)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21(2009)年度を基準とする平成26(2014)年度から平成29(2017)年度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成33年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
エネルギー 起源CO ₂	65,580	49,841 24	70,434 ▲7.4	65,053 0.8	57,959 11.6	53,511 18.4	53,937 17.8
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計	65,580	49,841 24	70,434 ▲7.4	65,053 0.8	57,959 11.6	53,511 18.4	53,937 17.8
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	オープン搬送コンベアの材料変更によるガス使用量の削減、各種照明のLED化で使用電力量の削減を図りましたが、生産量が増加した為に排出量は前年比で増加しました。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： (生産数量：単位KL / 百万個)

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成21年度	平成33年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費原 単位(原油換算kl)	10.76	9.47 12	9.47 12.0	8.64 19.7	9.09 15.5	7.66 28.8	7.44 30.9
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	エネルギー使用量の削減	エネルギー使用量2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上 (生産能率向上阻害要因の原因調査と対策の実施) ・長時間停止時(型換、仕様変更)の生産設備の電源OFF ・長時間停止(2時間以上)のオープン関係低燃焼化 ・プレヒートオープンの見直し ・省エネパトロールによる待機エネルギーの削減 ・低圧エア一圧の低減 (0.59MPa→0.58MPa) ・高圧エア一低減 (3.5MPa→3.3MPa) ・各部照明のLED化 ・高効率モーターの採用
2			
3			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄物総量の削減	年間排出量500ton未満	・汚泥発生量の削減

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。